

# 日本演劇史の金字塔、ついに映画化

長崎を最後の被爆地に—— 祈りとは…許しとは…愛とは…母性とは…昭和32年聖夜の物語



高島礼子

田辺誠一 金児憲史 村田雄浩

藤本隆宏 温水洋一 馬淵英里何 宮崎香蓮 大桃美代子

黒谷友香

寺田 農 柄本 明 美輪明宏 (被爆マリア像の声)

井手麻人 城之内正明 玉浦有之祐 たくみ稜



主題歌：「祈り」(新自分風土記I〜望郷編〜) 歌：さだまさし

監督：松村克弥 脚本：渡辺善則 松村克弥 亀 和夫 総括プロデューサー：家喜正男 プロデューサー：亀 和夫 城之内景子

入場無料

令和7年

8月23日

【1回目】10時00分開演(9時30分開場)

【2回目】13時30分開演(13時00分開場)

オークホール

※全席自由

戦争ほど悲惨で残酷なものはないか。原水爆は使うなよりも、戦争そのものをなくしたか。

# 終戦から80年 — 記憶を未来へ紡ぐ年に

## 「祈りー幻に長崎を想う刻ー」上映会・ 松村克弥監督トークショーを開催します

世界では今も戦争や侵攻、紛争など平和を脅かす様々な争いが起こっています。私たちは恒久的な平和を願い、二度と戦争の惨禍を繰り返すことがないように平和への意識を高め、戦争のない世界を目指していかなければいけません。終戦から80年。戦争の悲惨さと平和の尊さをあらためて知っていただくため、映画の上映と戦時資料の展示を行います。上映終了後には、映画監督によるトークショーを開催します。

●とき 8月23日(土) 1回目／10時～(開場9時30分)  
2回目／13時30分～(開場13時)

●ところ オークホール (入場無料／全席自由)

●内容 ▶「祈りー幻に長崎を想う刻ー」上映 (110分)  
▶松村克弥映画監督トークショー (10分程度)  
▶ロビーでの戦争資料の展示

※小学生以下のお子様のご来場はできるだけ保護者同伴をお願いします  
※定員に達した際は入場を制限させていただく場合があります

### 失われつつある戦争の肉声を記憶しつづけるために…



1945年8月9日11時2分、広島に次ぐ二発目の原子力爆弾が長崎市に投下され、人口24万人のうち約7万4千人が一瞬にして命を奪われた。東洋一の大聖堂とうたわれた浦上天主堂も被爆し、外壁の一部を残して崩壊。聖堂にあったマリア像は、焼けただれた頭部だけが残された。それから12年が過ぎ、浦上天主堂跡から被爆したマリア像を盗み出す一味の姿があった。首謀者はカトリック信徒のふたりの女。彼女たちはなぜマリア像を盗み出さなければならないのか…？！

主催 添田町・添田町教育委員会